

オーストラリア金融政策（2023年2月）

更に複数回の利上げを想定か

2023年2月7日

9会合連続の利上げで政策金利は3.35%に

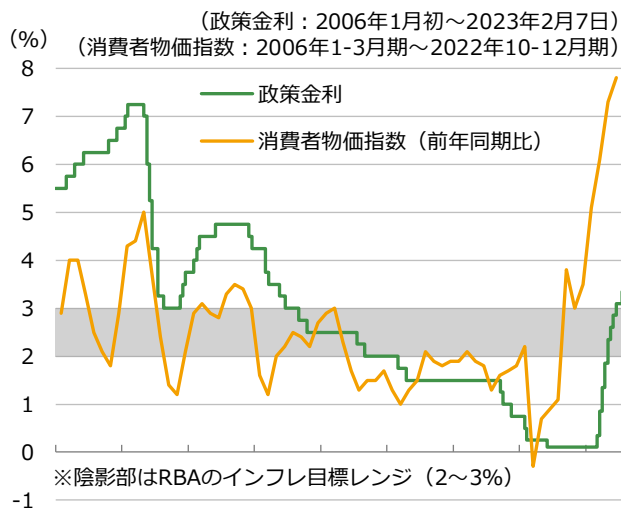
RBA（豪州準備銀行）は2月7日（現地）の理事会で、政策金利を3.1%から3.35%に引き上げることを決定しました。利上げは昨年5月から9会合連続で、利上げ幅は過去3回と同じ0.25%ポイントです。

今回決定された利上げ幅は市場予想通りでしたが、声明文で市場の想定より追加利上げに積極的な姿勢が示されたため、発表後は金利上昇・豪ドル高の反応となりました。具体的には、今後の政策について「インフレ率を目標に回帰させ、今次の高インフレが一時的であることを確実にするために、今後数カ月（over the months ahead）で更なる利上げが必要になると予想する」と記された点が注目されました。また、前回の声明文で記されていた「利上げの経路は前もって決まっていな

い」との但し書きが消えたため、市場はRBAが複数回の追加利上げを想定していると受け取ったようです。市場では今回、あるいは次回3月で利上げが打ち止めになるとの予想が多かったため、声明文の内容はややサプライズでした。

RBAは市場参加者が予想する政策金利を前提に経済見通しを出しています。それによると、消費者物価指数（前年同期比）は今年10-12月期でも4.75%とインフレ目標（2～3%）を大幅に上回ったままで、2025年半ばにようやく3%まで鈍化する見通しであり、早期のインフレ抑制には市場の想定より積極的な利上げが必要と考えたのでしょう。RBAが指摘する通り先行きの不確実性は大きいため、利上げ（住宅ローン利払い費の上昇）が個人消費に与える効果、ひいてはインフレ見通しに及ぼす影響に要注目です。

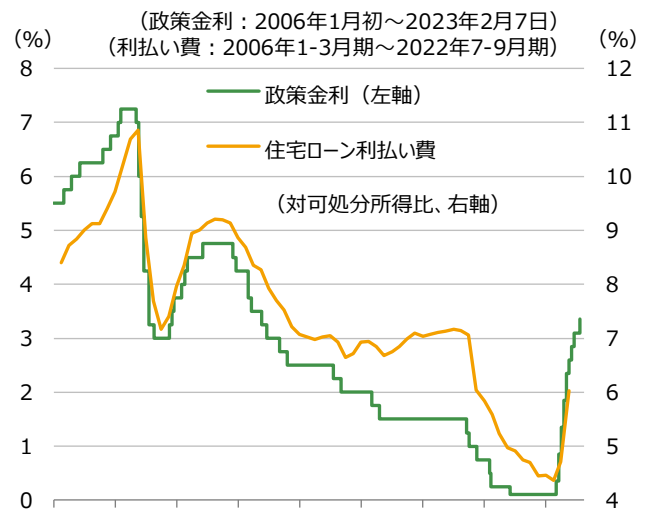
豪州の政策金利と消費者物価指数



※政策金利は決定日ベース

（出所）ブルームバーグ、豪州統計局

豪州の政策金利と住宅ローン利払い費



※政策金利は決定日ベース

（出所）ブルームバーグ、RBA

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management